

# 1億6千万円の滞納 どうなる？町の自主財源

## 多額の滞納に9月定例会で質疑集中

平成17年度決算で、町税などの滞納(収入未済額)は1億6千万円を超えました。特に、町税約3千600万円、国民健康保険税約1億円、病院医療費2千万円と多額で、保育料や水道料の未納も増えており、9月定例会で議員の質疑が集中しました。なぜ、未納がこのように増えるのか、そしてこの問題を解決するためにはどうすれば良いか、町民の皆さんと考えてみたいと思います。

### 平成17年度末葛巻町の滞納額の状況

(単位:円)

項目	金額	主な未納の内容
国民健康保険税	99,658,062	保険税
普通税	35,744,562	町民税、固定資産税、軽自動車税
病院医療費	21,053,583	医療費自己負担分
分担金・負担金	7,045,028	保育料、広域農業開発費負担金
簡易水道使用料	1,780,198	水道料金
農業集落排水加入分担金	1,136,215	加入者分担金
使用料・手数料	101,505	飲料水供給施設水道使用料、総合センター使用料
諸収入	24,092	総合センター電気料
合計	166,543,254	

### 収入があるのに未納 住民の間に不公平感

事業の不振、失業、自身や家族の病気など、様々な理由で税金などを納めるのが困難な場合があります。このような方には、町が相談に応じて、減免や分割納入などを行っています。

しかし、今問題になっているのは、他の支払いを優先するなど「収入がありながらも納税しない」というケースです。

このような事態が、町の財政を圧迫し、住民の間に不公平感を広めています。

町税や保育料、水道料などは、町独自の収入源で「自主財源」といいます。町が自立していくためには、この自主財源を確実に確保しなければなりません。

また、病院は、運営経費の多くが医療費によって支えられているため、個人医療費の滞納の増加は、経営悪化に直結します。

地方交付税や国、県の補助金のみならず、税金などの滞納が、町の財政悪化の大きな要因となります。

むことが必要であると、強い指摘がありました。

これを受け、町は会期中に急ぎ「未収金徴収計画」を策定し、議会に提出しました。

この計画では、平成22年度までの5年間で、現在の総額約1億6千万円の滞納額を、1億1千万円にまで減らす計画です。

今後、この目標と計画に沿った取り組みの成果が期待されており、議会も引き続き行政の重要課題として注目していきます。

### 税金「とられる」から 自分のための納税へ

私たちは、納税は義務だと理解しつつも、国、県、町に「とられる」という感覚が強いものです。

しかし、毎日使う道路や水道、救急車や消防車なども、全て基本は税金によるものです。また、病院や学校、保育園など、身近なところに税金は形となって現れています。

私たちの日々の生活は、一人ひとりが努力して納める税金や、使用料などによって支えられています。

今後、現状を改善するために、「税金をとられる」という感覚を、「自分のための納税」という意識に

### 国保税1億円の未納 制度の維持も困難に

特に滞納が深刻なのは、国民健康保険(以下「国保」)です。

国保税の滞納は約1億円にも及び、基金も平成18年度中に4千万円以下となり、国の示す基準を下回る可能性があります。

また、国保税は、その年の徴収率が93%を下回ると、ペナルティとして国の交付金が減額され、不足分は町独自で負担しなければならなくなります。本町は、近年この93%をかるうじてクリアしている厳しい状況です。

### 深刻な事態の改善へ 目標と計画の必要性

この滞納問題を受け、9月定例会では「明確な目標を掲げた徴収計画の必要性」が議論のポイントとなりました。

町では、徴収専門員を雇用したり「徴収特別対策本部」を設置するなど、これまでも徴収に力を入れてきました。個別納税相談や、夜間・休日徴収、口座振替の導入など、様々な取り組みを行い、議会も評価しています。

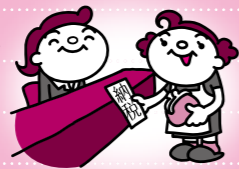
しかし、17年度に急激に滞納が増加したことで、町の徴収体制を問う声が議員から相次ぎました。特に、いつまでにとのくらい徴収するか、目標と計画を示して取り組

#### 議会から町民の皆さんへ

### 納めよう!自分と家族の未来のために

納税は、自分自身や家族のためであり、これからの子どもたちの未来にも欠かせません。また、水道料や保育料、医療費などを納めるのは社会のルールです。

さまざまな理由で、税金や各使用料などを納めるのが困難な場合は、役場に相談に行きましょう。



子どもたちの未来のためにも税金が必要です